

RESILIENT LIFE PROJECT

ブランドシンボルデザインマニュアル

本ガイドラインの目的

レジリエントライフプロジェクトは、自然 / 社会 / 個人に起因するあらゆるリスクに備え、
困難への適応力・回復力・成長力を高めながら、より豊かな毎日の実現を目指す新しい取り組みです。
本ガイドラインは、RESILIENT LIFE PROJECT の参画法人が RESILIENT LIFE PROJECT ロゴマークを使用する際の
デザインの規定や注意点、および具体的な使用例を定めたものです。
RESILIENT LIFE PROJECT の趣旨をご理解いただき、正しくご使用ください。
なお、RESILIENT LIFE PROJECT ロゴマークを使用するには、株式会社 I-レジリエンス への申請が必要となります。
申請方法等については、『RESILIENT LIFE PROJECT ロゴマーク使用規約』をご参照ください。
本ガイドラインは、株式会社 I-レジリエンス により、事前の通知もなく、改訂される場合があります。
本ガイドラインに関する問い合わせは、下記お問い合わせ先までお願いいたします。

問い合わせ・申請先

・株式会社 I-レジリエンス レジリエントライフプロジェクト事務局
〒103-0026
東京都中央区日本橋兜町 5-1 兜町第 1 平和ビル 3 階
メール：resilient-life-project@i-resilience.co.jp

発行日

2023 年 9 月

マスターデータについて

マスターデータは、申請承認後、送付致します。

1. ロゴ	P02
2. 表示パターンとカラーバリエーション_カラー ver	P03
3. 表示パターンとカラーバリエーション_モノクロ ver	P05
4. ロゴマークのアイソレーション	P07
5. 最小使用サイズ	P08
6. 使用禁止例	P09

このページは内容が固まってからの更新とさせていただきます

どんなリスクも乗り越え、もっと豊かになる100年へ。

この国は、世界有数の災害大国。そう、私たちは言われてきた。^{*}
100年前に10万人以上の死者・行方不明者を出した関東大震災をはじめ、
以降も全国各地で地震・台風・洪水などの大きな自然災害、その後の二次災害に見舞われてきたから。
世界のたった0.25%の土地面積しかないのに、全世界の自然災害被害総額の16%が集中しているから。
数十年以内に「南海トラフ」「首都直下」という2つの巨大地震発生の可能性が高まっているから。

にもかかわらず、防災への意識は高まっていない。備えだって十分とは言えない。
それは、その災害がいつくるかわからないから。
地震も津波も台風も洪水も怖いけれど、人生のリスクはそれだけではないから。

だから、はじめませんか？
自然災害だけでなく、交通事故や健康被害など、
人生のあらゆるリスクに備えながら、今日を豊かにする新しいライフスタイル。
将来の困難にあらかじめ備え、適応しながら、創意工夫を持って回復し、
成長への新たな一歩を踏み出す準備ができていく毎日。
いま、世界が注目するキーワード「レジリエンス」を体現する、しなやかな暮らし。

幸いにして、私たちには多くの痛みを伴った経験からの学び、データやそこから生まれた技術がある。
それはもっとポジティブに捉え、体系化し、日々の生活に役立てられる。
将来の不安やリスクをきちんと見つめながらも、今日を豊かにすることができる。
そこからはじまる新しいくらしやビジネスが、きっとある。



RESILIENT LIFE PROJECT

レジリエントライフ プロジェクト、はじまる。

※(出展)内閣府HP2023年時点

2. ブランドシンボルとブランドカラーについて

ブランドシンボル

ブランドシンボルは、困難への「予防」「適応」そこからの「回復」「成長」を表す、7本のレジリエント曲線で構成されています。週7日間の様々なシーンで、様々なリスクや困難に、多様なプレイヤーとともに対応することを意味するとともに、「レジリエンスをライフに実装したい」というこのプロジェクトの目標を表現しています。



ブランドカラー

ブランドカラーは、「日本」および「防災」の象徴である「赤」を採用しています。世界有数の自然災害大国ならではの学びや経験、そこから生まれた技術・ナレッジを元に、世界のレジリエンスをリードするという意思が込められています。



PANETONE : 199C
Process : C 0% + M 100% + Y 100% + K 0%
RGB : R204% + G38% + B39%

3. ブランドシンボルについて

- 表示の際は、下記の指定色と使用サイズを守ってご使用ください。

■タテ組



**RESILIENT
LIFE
PROJECT**

■ヨコ組_大 横幅 120m 以上の場合、大を使用



**RESILIENT
LIFE
PROJECT**

■ヨコ組_小 横幅 120m 以下の場合、小を使用



**RESILIENT
LIFE
PROJECT**

■一行組



RESILIENT LIFE PROJECT



PANETONE : 199C
Process : C 0% + M 100% + Y 100% + K 0%
RGB : R204% + G 38% + B 39%

4. 表示パターンとカラーバリエーション_カラー ver

- RESILIENT LIFE PROJECT ブランドシンボルは、ロゴマークとロゴタイプを表示した組み合わせです。2種類の組み方があります。
- ブランドシンボルの用途や表示するスペースに応じて、定めた表示パターンを使い分けて下さい。
- 背景色によって、ブランドシンボルの色が二種類あります。
- 背景が絵柄の場合、ブランドシンボルの視認性に配慮して下さい。

■ タテ_背景白



■ タテ_背景黒



Process : K 100%
RGB : R 0% + G 0% + B 0%



Process : C 0% + M 0% + Y 0% + K 0%
RGB : R 255% + G 255% + B 255%



PANETONE : 199C
Process : C 0% + M 100% + Y 100% + K 0%
RGB : R204% + G 38% + B 39%

4. 表示パターンとカラーバリエーション_カラー ver

■ヨコ_背景白



■ヨコ_背景黒



Process : K 100%
RGB : R 0% + G 0% + B 0%



Process : C 0% + M 0% + Y 0% + K 0%
RGB : R 255% + G 255% + B 255%



PANETONE : 199C
Process : C 0% + M 100% + Y 100% + K 0%
RGB : R204% + G 38% + B 39%

4. 表示パターンとカラーバリエーション_カラー ver

■一行_背景白

 **RESILIENT LIFE PROJECT**

■一行_背景黒



Process : K 100%
RGB : R 0% + G 0% + B 0%



Process : C 0% + M 0% + Y 0% + K 0%
RGB : R 255% + G 255% + B 255%



PANETONE : 199C
Process : C 0% + M 100% + Y 100% + K 0%
RGB : R204% + G 38% + B 39%

5. 表示パターンとカラーバリエーション_モノクロ ver

- RESILIENT LIFE PROJECT ブランドシンボルは、ロゴマークとロゴタイプを表示した組み合わせです。2種類の組み方があります。
- ブランドシンボルの用途や表示するスペースに応じて、定めた表示パターンを使い分けて下さい。
- 背景色によって、ブランドシンボルの色が二種類あります。
- 背景が絵柄の場合、ブランドシンボルの視認性に配慮して下さい。

■ タテ_背景白



■ タテ_背景黒



Process : K 100%
RGB : R 0% + G 0% + B 0%



Process : C 0% + M 0% + Y 0% + K 0%
RGB : R 255% + G 255% + B 255%

■ヨコ_背景白



■ヨコ_背景黒



Process : K 100%
RGB : R 0% + G 0% + B 0%



Process : C 0% + M 0% + Y 0% + K 0%
RGB : R 255% + G 255% + B 255%

■一行_背景白



■一行_背景黒



Process : K 100%
RGB : R 0% + G 0% + B 0%



Process : C 0% + M 0% + Y 0% + K 0%
RGB : R 255% + G 255% + B 255%

6. 表示色と背景色の関係_OK な例

- ブランドシンボルは、コントラストの得られない表示を避け、下記のモノクロの明度差に準じて配色してください。
- 表示色と背景色の関係は、紙質やインク濃度の違いなどによって異なりますので、表示例は目安としてください。

■ カラー表示の場合 OKの背景明度



背景濃度 0%



背景濃度 10%



背景濃度 20%



背景濃度 30%



背景濃度 40%

■ スミ表示の場合 OKの背景明度



背景濃度 0%



背景濃度 10%



背景濃度 20%



背景濃度 30%



背景濃度 40%



背景濃度 50%

■ ヌギ表示の場合 OKの背景明度



背景濃度 100%



背景濃度 90%



背景濃度 80%



背景濃度 70%



背景濃度 60%



背景濃度 50%



背景濃度 40%

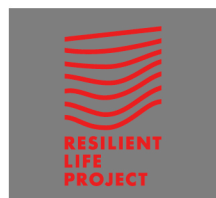


背景濃度 30%

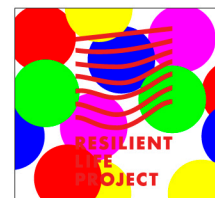
7. 表示色と背景色の関係 _NG 例

- ブランドシンボルは、コントラストの得られない表示を避け、下記の例を参考にして常に明瞭に表示してください。
- 表示色と背景色の関係は、紙質やインク濃度の違いなどによって異なりますので、表示例は目安としてください。

■ カラー表示の場合



背景濃度 50% 以上



コントラストの得られない背景や煩雑な背景には表示しないでください。

■ スミ表示の場合



背景濃度 60% 以上



コントラストの得られない背景や煩雑な背景には表示しないでください。

■ スキ表示の場合



背景濃度 20% 以下



コントラストの得られない背景や煩雑な背景には表示しないでください。

8. アイソレーション

- ブランドシンボルの表示は識別性をもって行ってください。表示する際は、周辺に一定の保護領域〈アイソレーション〉を設けてください。

■タテ



■ヨコ



■一行 v



9. 最小使用サイズ

■タテ_最小サイズ



■ヨコ_最小サイズ



■一行_最小サイズ



※これよりさらにサイズを小さくしたい場合は事務局にご相談ください。

- 本事業の主旨を表現するメッセージがブランドスローガンです。レイアウト上の規定と使用例に関しては、次項を参照してください。

**どんなリスクも乗り越え、
もっと豊かになる100年へ。**

11. ブランドスローガンとブランドシンボルの組み合わせ例 _A-1

ブランドスローガンと
ブランドシンボル
ロックアップ（組み合わせ）

どんなリスクも乗り越え、
もっと豊かになる100年へ。



どんなリスクも乗り越え、
もっと豊かになる100年へ。



ブランドスローガン
アイソレーションエリア



11. ブランドスローガンとブランドシンボルの組み合わせ例 _A-2

ブランドスローガンと
ブランドシンボル
ロックアップ (組み合わせ)



どんなリスクも乗り越え、
もっと豊かになる100年へ。



どんなリスクも乗り越え、
もっと豊かになる100年へ。

ブランドスローガン
アイソレーションエリア

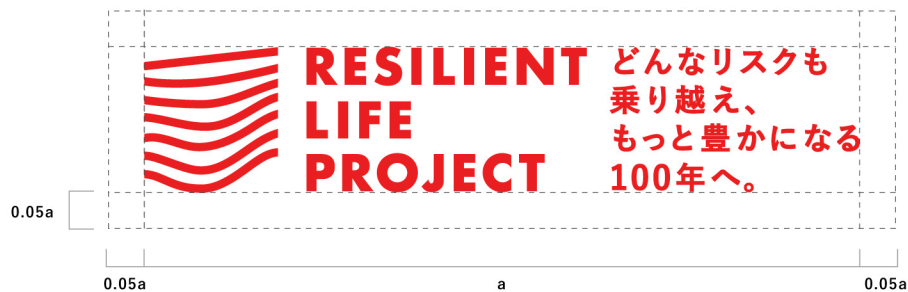


11. ブランドスローガンとブランドシンボルの組み合わせ例_A-3

ブランドスローガンと
ブランドシンボル
ロックアップ (組み合わせ)



ブランドスローガン
アイソレーションエリア



11. ブランドスローガンとブランドシンボルの組み合わせ例_B

ブランドスローガンと
ブランドシンボル
ロックアップ (組み合わせ)



**RESILIENT
LIFE
PROJECT**

どんなリスクも
乗り越え、
もっと豊かになる
100年へ。



**RESILIENT
LIFE
PROJECT**

どんなリスクも
乗り越え、
もっと豊かになる
100年へ。

ブランドスローガン
アイソレーションエリア

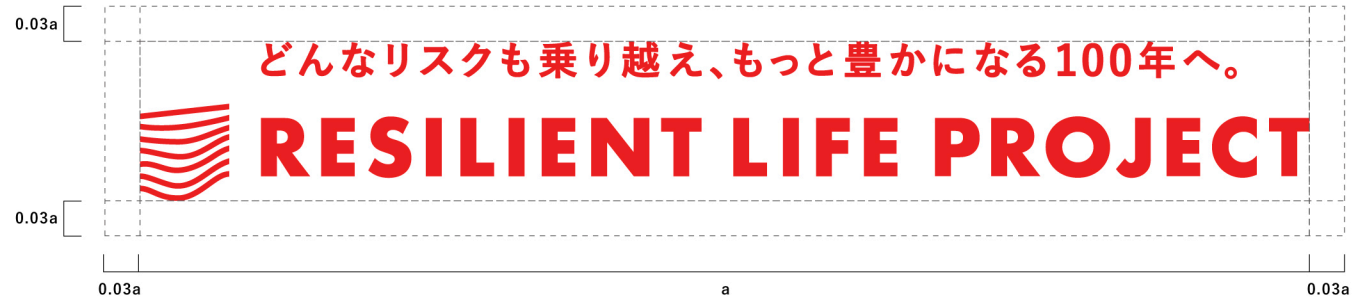


11. ブランドスローガンとブランドシンボルの組み合わせ例 _C

ブランドスローガンと
ブランドシンボル
ロックアップ (組み合わせ)



ブランドスローガン
アイソレーションエリア



12. ブランドスローガンとブランドシンボルの組み合わせ例

- 最小使用サイズ 図示のサイズは、印刷物における規定値です

■A-1_最小サイズ



■B_最小サイズ

35mm/84px



■A-2_最小サイズ



■C_最小サイズ



■A-3_最小サイズ



13. 使用禁止例

● このページには、ブランドシンボルを表示する上で誤りがちな使用例を表示しています。一貫したブランドコミュニケーション展開を行うためにも、ブランドシンボルの誤用は避けてください。

(1) カラーシステム以外の色に変更する



(2) 比率を変更する



(3) 斜体にする



(4) ロゴタイプの位置関係、大きさ、文字間を変更する



(5) 要素を省略する



(6) 他の文字と組み合わせる



(7) クリアスペース内に他のデザイン要素を加える



(8) ドロップシャドウを付ける。



(9) 複雑な背景の上に表示する



※このページのデータは使用不可。

14. 参画者のロゴと併記例

- 単一ブランドに RESILIENT LIFE PROJECT を併記する場合は、以下の例を参考にしてください。

● 表示例



RESILIENT LIFE PROJECT 参画者のロゴが RLPブランドシンボルより、大きく見えるように使用してください。

● 組み合わせる場合



並べる場合は、右に RLP ブランドシンボルをレイアウトしてください。

14. 参画者のロゴと併記例

● 組み合わせる場合の注意事項



ブランドシンボルを冠のように配してはいけない



ブランドシンボルが RLP 参画者のロゴと同じ大きさ、もしくはそれ以上大きく見えるように使用してはいけない

14. 参画者のロゴと併記例

- 単一ブランドに JAPAN BRAND を併記する場合は、以下の例を参考にしてください。



レジリエントライフプロジェクトを、私達は応援しています。

登録者のロゴと RESILIENT LIFE PROJECT のブランドシンボルは同じ大きさを構いませんが、両者を隔てる線を引いてください。

15. ブランドシンボル等の使用方法

使用方法

1. RESILIENT LIFE PROJECT ブランドシンボル等の使用は、RESILIENT LIFE PROJECT 参画者のブランド活動に限ります。ブランド活動とは、カタログやホームページ、展示会、売り場での POP 掲示等でブランド全体を説明・訴求する活動です。
2. RESILIENT LIFE PROJECT ブランド参画者の商品であっても、RESILIENT LIFE PROJECT ブランドシンボル等を、個別商品やパッケージに付与して使用したい場合には、別途 RESILIENT LIFE PRODUCT 事務局へご相談ください。
3. RESILIENT LIFE PROJECT 参画者のブランド以外の商品やサービスと、近接または並列して提示・販売する場合は、カテゴリー分けやコーナー分けを明確に区分して、消費者が誤認しないための配慮をしなければなりません。
※展開例は 14 の項目を参照してください。

ロゴマーク等の不正利用について

・ RESILIENT LIFE PROJECT ブランドシンボル等を以下のような使い方をすることはできません。

- ① 募金活動と結びつけて使用すること
 - ② 法令や公序良俗に反するような方法で使用すること
 - ③ JAPAN ブランド育成支援事業および RESILIENT LIFE PROJECT の趣旨に反するような方法で使用すること
 - ④ 商品・サービス名や企業・団体名と組み合わせて使用すること
2. 以下のような場合には、RESILIENT LIFE PROJECT ブランドシンボル等の使用の取り消しや停止等の措置をとることがあります。
- ① 本規約に違反した場合、またはその疑いがあり、RESILIENT LIFE PROJECT 事務局からの是正に応じない場合
 - ② 「RESILIENT LIFE PROJECT ブランドシンボル等使用ガイドライン」に違反した場合、
またはその疑いがあり RESILIENT LIFE PROJECT 事務局からの是正に応じない場合

・ 募金活動と結びつけて使用する

・ 法令や公序良俗に反する

・ RESILIENT LIFE PROJECT の趣旨に反する



● 展開例



確かな科学で、しなやかな社会を共創する

代表取締役社長 防災士

小林 誠 Kobayashi Makoto

I-レジリエンス株式会社
〒103-0026
東京都中央区日本橋兜町5番1号兜町第1平和ビル3階
TEL 03-6842-0715
MOBILE 080-1453-8272
kobayashi@i-resilience.co.jp
<https://www.i-resilience.co.jp/>



TVCM・動画等



※動画の冒頭か最後に、最低2秒表示

お問い合わせ先

株式会社 I-レジリエンス レジリエントライフプロジェクト事務局
〒103-0026
東京都中央区日本橋兜町 5-1 兜町第 1 平和ビル 3 階
メール：resilient-life-project@i-resilience.co.jp

作成日：2023年05月8日

発行：HAKUHODO.Inc

- 本マニュアルの一部または全部を発行者の事前承諾なしに改編することを禁じます。
 - 本マニュアルに記載された内容は予告なしに変更されることがあります。
-